

平成29年度 庄原市学校司書研修会

- 日 時：平成29年7月25日（火） 10：00～14：45
- 場 所：庄原市田園文化センター
- 対象者：庄原市内小中学校の学校司書（10名）

目 的

- 読み聞かせの一線で活躍しておられる方から講話・演習を受けることで、読み聞かせの意義やポイント等を学び、各校での活動の充実及び児童生徒の読書活動の推進を図る。
- 庄原市職員としての服務規律について理解する。

講話 「服務について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係 管理主事 辻坊 健作



【講話の概要】

- 事例を基にした服務研修
 - ・交通事故事案を基に、交通事故に遭遇した際、どのような対処をすればよいかについて確認を行った。
- 自分自身の振り返りと目指す自分の姿について
 - ・目指す自分になるために、今、自分ができることについて考え、交流を行った。

講話・演習 「子供たちの読書活動推進をめざして」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐 さん



【参加者の声】

- ・本で調べる楽しさを広げることができるよう、環境づくりをしていきたい。
- ・様々なジャンルの本を読み、一番に子供たちのことを考えて活動することを忘れず仕事をしていきたい。

【講話・演習の概要】

- 子供たちがよい本と出会うために、学校司書として、子供たちに読んでほしい本や読んでおいてほしい本を、読み聞かせやブックトークを通して紹介していく必要がある。
- 読書に対して、否定的な見方をされている人もいます。そのような考えをもった方を含め、どのように読書活動を図っていくかについて、考えておく必要がある。
- 学校司書の役割に期待することとして、子供たちがたくさんの本と出会えるような取組を期待する。そのためにも、地域の図書館、読書ボランティア、そして、学校の先生方としっかり連携することが大切である。